



衆議院議員 厚生労働委員長 前財務・経産副大臣

# 池田元久



衆議院議員・池田元久事務所

国会事務所/〒100-8981 東京都千代田区永田2-2-1

衆議院第1議員会館1004号

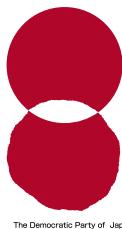
TEL:03-3508-7391 FAX:3508-3631

横浜事務所/〒241-0022 横浜市旭区鶴ヶ峰2-30

TEL:045-371-1000 FAX:374-0100

衆議院  
議員もとひさ  
**池田元久**  
の活動報告**ACTION****REPORT**POLITICAL REPORT BY  
IKEDA-MOTOHISA

WINTER 2011/2012



The Democratic Party of Japan

民主党

# 試錬のりこえ 日本再生へ

## 政策を総動員 着実、強力に実行

そのためには、将来に引継げる、震災、津波に強い新市街地、農漁業地域、公共施設などの建設に思い切って予算を投入する。税の減免など助成策によつて企業の立地と雇用を確保する。さらに日銀に対しても、円高是正とデフレ脱却のため強力な金融政策の実行を求めてゆく。

文字通り日本再生のため、政策を総動員して着実に実行してゆかなければならぬ。

全、安心が大きく揺らいでいる。福島県民のうち約14万人が自宅に帰れないでいる。原発の安全性について徹底的に検証しなければならない。人々の安全、安心を第一に考えれば、近い将来「減原発」から「脱原発」へ向かうのは当然だ。

一方、東日本大震災の被害総額は建物、施設だけでも16兆9千億円と見積もられている。ここで大事なのは、日本が先進国で唯一長期のデフレに陥っていることだ。震災からの復旧に全効力を挙げると同時に、それをテコに人々を苦しめているデフレから脱却する機会にしなければならない。

日々の暮らしの根底にある安全感、安心が大きく揺らいでいる。福島県民のうち約14万人が自宅に帰れないでいる。原発の安全に帰れないでいる。原発の安全性について徹底的に検証しなければならない。人々の安全、安心を第一に考えれば、近い将来「減原発」から「脱原発」へ向かうのは当然だ。

日々の暮らしの根底にある安全感、安心が大きく揺らいでいる。福島県民のうち約14万人が自宅に帰れないでいる。原発の安全に帰れないでいる。原発の安全性について徹底的に検証しなければならない。人々の安全、安心を第一に考えれば、近い将来「減原発」から「脱原発」へ向かうのは当然だ。

### ひとびと第一の政治 people first

- ・神奈川県生まれ。NHKに入り、政治部記者。総合企画室副部長。
- ・90年2月総選挙で初当選。空域封鎖下のイラクに入り、人質の解放を交渉。
- ・横浜の水源地のゴルフ場計画を断念に追い込む。
- ・日本発金融恐慌を防ぐ金融再生法を立案、成立を果たす。
- ・陷落後のアフガニスタンの首都に一番乗り、カルザイ議長と会談。
- ・中小企業者の個人保証の改革、非営利銀行の普及、日本独自の経済制裁の創設に尽力。
- ・12年ぶりに法人税の5%引き下げの方針決定。
- ・予算委員会筆頭理事、衆議院外務委員長、懲罰委員長、党国際局長、国会対策委員長、党「次の内閣」財務大臣、菅内閣の財務副大臣、経済産業副大臣を歴任。衆議院厚生労働委員長。
- ・94年4月から05年3月まで神奈川大学経営学部講師も務める。
- ◆好きな花：バラと蘭。
- ◆好きな色：鮮やかなブルー。碧い海を連想させ

